

SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利晶の杜
Sakai Plaza of Rikyu and Akiko



大徳寺龍光院

文化講話対談

さかい利晶の杜開館3周年記念企画

天王寺屋と堺



芳澤勝弘編著 江月宗玩 欠伸稿訳注 乾

堺で生まれ、京で育まれた
茶の湯の精神、堺へ回帰

聞き手 堺市副市長 狭間恵三子氏

京都紫野大徳寺龍光院住職

小堀月浦和尚

講話対談

定員
80名

日時 平成30年3月11日(日)
 13:30~15:00 文化講話対談
 15:10~16:30 呈茶(時間制 定員40名×2)
 ※呈茶の時間は当日の受付順です。

会場 さかい利晶の杜 茶室広間

料金 2,000円(干菓子と抹茶付き)

龍光院御好茶銘「大通庵」を特別にお召し上がりいただけます。

講話の後に呈茶を行います。また参加者は千利休の茶の湯館・与謝野晶子記念館に無料でご入館いただけますので呈茶の順番待ちの際は、展示観覧をお楽しみください。

天王寺屋は、茶人として有名な堺の豪商津田家の屋号。津田宗達・宗及父子は、室町時代後期から安土桃山時代にかけて、堺の茶の湯文化に多大な影響を与えました。津田宗及の次男・江月宗玩は、大徳寺龍光院を開創し、寛永文化の中心的なひとりとなりました。天王寺屋の故郷・堺に、大徳寺龍光院から小堀月浦和尚をお招きし、津田宗達四五〇回忌を南宗寺で営まれたお話を中心に、天王寺屋への思いを語っていただきます。二〇二二年「利休生誕五百年」をひかえ、茶の湯文化の聖地・堺について学べることは、大変意義のあることだと考えます。ぜひ、この機会に、利休茶の湯大成の礎となった天王寺屋の歴史と文化に触れてください。皆様のご参加をお待ちしております。



江月宗玩頂相(大徳寺龍光院所蔵)

さかい利晶の杜 開館3周年記念企画

2015年にオープンしました「さかい利晶の杜」はたくさんの皆様に支えられ、来る2018年3月20日に開館3周年を迎えます。2017年11月には総来館者数100万人を達成し、これもひとえに皆様方のお引き立ての賜と心より感謝いたしております。これからも「千利休」と「与謝野晶子」という堺が誇る2人の偉人を通し、堺の町の発展や、茶の湯文化の魅力の発信に努めてまいり所存です。

つきましては、開館3周年を記念して「天王寺屋と堺」と題しました文化講話対談を開催いたします。



千利休茶の湯館



与謝野晶子記念館



さかい待庵特別観覧(申込制)

大徳寺龍光院

龍光院は1606年黒田長政が父・黒田官兵衛の菩提を弔うために建立した。津田宗及の子である江月宗玩が開創、のちに大徳寺の住持となる。

国宝の書院・曜変天目茶碗をはじめ、数多くの重要文化財が龍光院には伝えられている。

天王寺屋が有した茶道具の名品は、大坂夏の陣で堺が焼け野原となる前に、江月宗玩が、大徳寺龍光院へと運び、いまでも大切に守られている。

龍光院御好 大通庵

堺、大小路にあった天王寺屋の菩提寺である大徳寺派の寺院「大通庵」にちなんで銘々された茶「龍光院御好 大通庵」をこの度、特別にお召し上がりいただけます。



大通庵茶壺「道登」



大通庵跡 標柱石

2月11日(日) 午前9時より参加申込みの受付を開始いたします。 定員:80名(先着順)

ご参加される方には、案内状を送らせていただきます。講話のあとに呈茶を行います。恐れ入りますが、呈茶の時間は当日の受付順となりますのでご了承ください。

※くつ下をご準備ください。茶室にイスの準備はございませんのでご了承ください。

参加には事前のお申込が必要です。氏名(ふりがな)・年齢・職業・住所・電話番号(FAX番号)を記載の上、下記いずれかの方法でお申してください。

FAX **072-260-4725**

HP **www.sakai-rishonomori.com**
「イベント参加募集」欄より参加申込みができます。



TEL **072-260-4386**

※ご記入いただいた個人情報は当イベントに関するご連絡の他、当館事業のご案内に利用いたします。

主催：さかい利晶の杜

特別協力：NPO法人堺観光ボランティア協会

ふりがな		年齢
氏名		
職業	住所 〒	
TEL	FAX	

SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

〒590-0958 堺市堺区宿院町西2丁1-1 TEL.072-260-4386 FAX.072-260-4725

http://www.sakai-rishonomori.com

さかい利晶の杜 検索